



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」

「これでよいのか」

「さあやるぞ」

雨と仲良く

進級、入学してから2か月が過ぎます。新しい仲間や先生とも親しくなったようです。1年生はすっかり小学生らしくなりました。「私の学校のここが好き」というところがたくさん見つかったのではないのでしょうか。それをお家の方にも教えてあげているとよいのですが、いかがでしょうか？

「五月雨を集めてはやし最上川」という俳句があります。江戸時代の俳人、松尾芭蕉が東北地方を旅した時の紀行文、「おくのほそ道」に書かれています。梅雨の長雨で水かさが増し、ものすごい勢いで流れている最上川の様子を見て詠みました。「五月雨」は「梅雨」のことを表します。「梅雨」といえば6月ごろをイメージしますが、「5月の雨」がなぜ梅雨なのか不思議（※）に思います。

さて、6月になりますと、そろそろ梅雨入りです。

外で思い切り体を動かさない日が増えてしまいます。「雨降りは嫌だな」という人もいますが、米を作る農家の方は、この時期に雨が降らないと困ってしまいます。カエルやカタツムリは雨が降ると元気になります。松尾芭蕉さんも五月雨のおかげで素敵な俳句をつくりました。皆様もこの季節ならではの良いところを味わってください。



※注釈 「五月雨」を辞書で引くと、「陰暦五月頃に降る長雨。つゆ。」とありました。陰暦というのは、月の満ち欠けを規準にして造った暦のことです。普段使っている太陽暦とは1か月ほどのずれがあるようです。ですから、「五月雨を……」は今頃の季節を詠んだ俳句ということになります。

環境美化の日（5月27日）に思う

5月12日（土）の学校公開日に、多くの保護者・地域の方に来校していただきました。授業参観後のアンケートで次のような貴重なご意見をいただきました。

○「階段の汚れが気になりました。清掃活動に力をいれてください。」

子どもたちは進級後、新しい清掃場所で黙々と掃除をしています。特に、本校の「みどり階段」と「ピンク階段」は綿埃が目立ちやすく、清掃重点箇所の一つとして3・4年生が一生懸命に取り組んでおります。2年前からは、美化委員会の子どもたちが、登校後毎日階段の朝清掃を実施しておいでいます。今後も、『師弟同行』（※黙々と子どもたちと一緒に清掃活動）をモットーに学校環境をさらに整えられるようにしてまいります。